

総合商研株式会社



2006年7月期 中間決算説明会



2006年7月期 中間決算説明会INDEX

■中期経営計画「スタート2005」

- 中期経営計画
- 中期経営計画の考え方

■2006年7月期 中間連結業績

- 中間決算概況
- 中間連結損益計算書
- 中間連結貸借対照表
- 中間連結キャッシュ・フロー
- 中間指標
- 事業別セグメント
- 商業印刷事業
- 年賀状印刷事業

■2006年7月期 業績予想

- 業績予想

■ご参考

- 個別中間損益計算書
- 個別中間貸借対照表
- 味香り戦略研究所



中期経営計画
スタート2005

変革と挑戦

- 成長基盤の確立と事業規模の拡大
- 競争力と優位性の強化

3年後を目標に、以下の4つの戦略でそれぞれの課題に取り組んでおります。

成長戦略

営業基盤・機能／競争力・優位性／集中化

- 新規営業と首都圏営業の強化
- 販売促進支援機能拡充と更なる効果的活用
- 当社優位性の確立
- 道内売上の増強

プロセス・クオリティ戦略

効率化／品質／生産性／システム

- 業務効率化と生産性向上
- 制作・印刷の品質向上
- 内製化の推進
- 外注・業務委託・仕入の一括管理

組織戦略

子会社戦略／拠点／人材／アライアンス

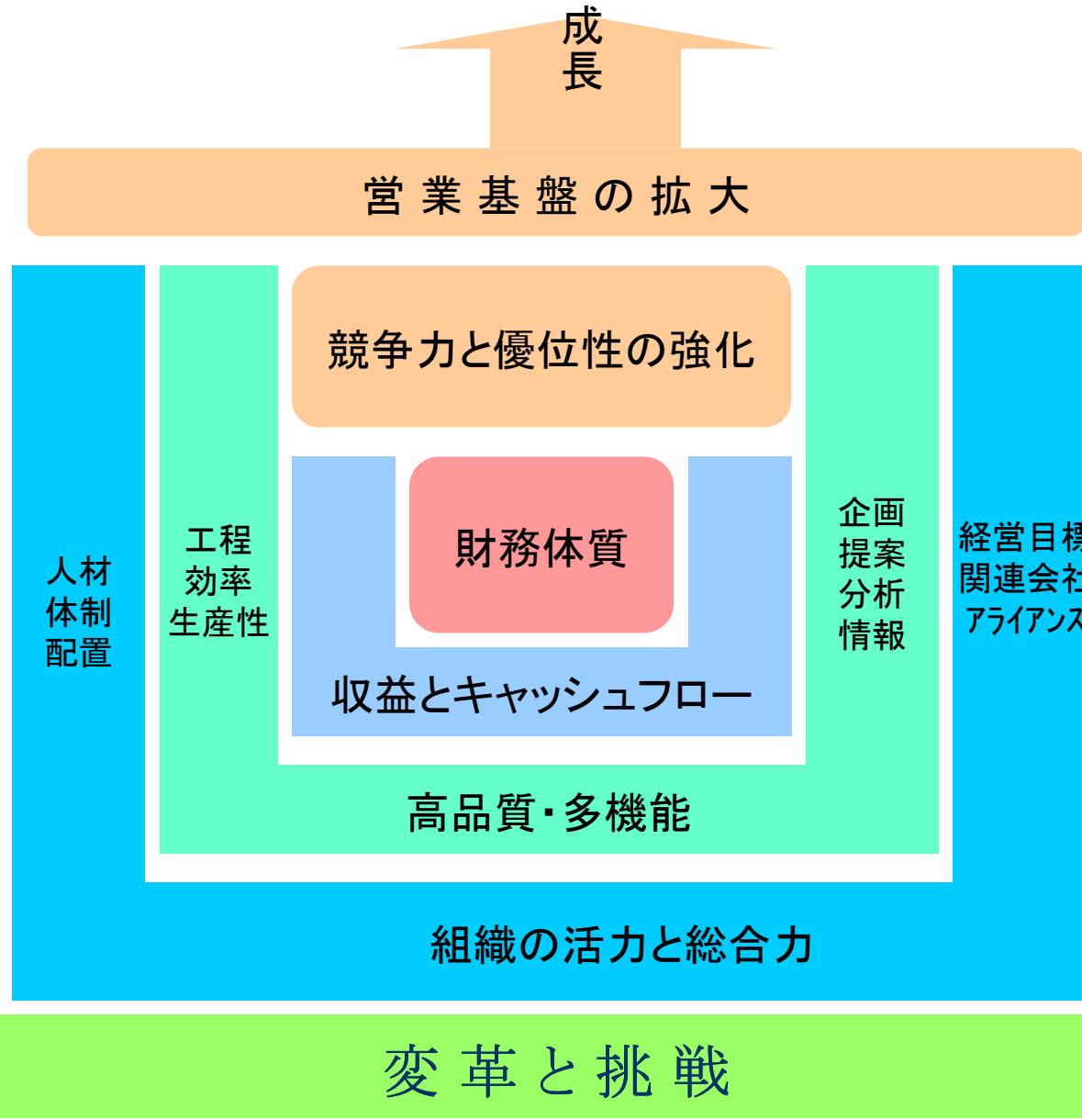
- ミニマム体制
- 効果的・戦略的拠点配置
- 組織活性化
- 当社グループの機能強化
- ビジネスユニットによる業績管理の強化
- 企業価値・イメージアップ

- 役割拡大と権限委譲
- 管理マネジメント力強化
- コンプライアンスの徹底
- 社員の待遇向上
- 社員教育充実
- 人事体系の整備

財務戦略

収益力／有利子負債削減／リスク管理

- コストコントロールと財務戦略
- 資金管理強化と財務構造改善
- 有利子負債と利子コストの削減
- 財務リスク管理の強化と未然防止
- 低稼働資産の圧縮
- キャッシュフロー重視



第35期の取組み

- 組織変更(17年7月)
 - ・3本部制
 - ・営業企画部新設
 - ・制作センターへの集約
- 有利子負債の削減
- 長期借入金の調達
 - ・財務バランスのは是正
- 資産の健全化
 - ・減損会計
- 設備投資の抑制
- 関連会社政策
 - ・(株)味香り戦略研究所の増資
 - ・(株)総合商業研究所の解散
- 新規営業の強化
- 首都圏営業の強化
- 年賀状印刷事業の拡大

当期は、競争力と優位性を強化するため「営業基盤の拡大」と「収益体質の改善」を主な目標として、次の事に取り組んでまいりました。

- ①新規営業の強化
- ②新規事業の展開と拡大
- ③コスト削減

- ④部署別利益管理の徹底
- ⑤有利子負債と支払利息の削減
- ⑥人材・組織・体制の強化

売上高 5,141百万円(375百万円増) 経常利益366百万円(71百万円増)

名入年賀状の取扱増加
543千件 → 631千件(16.1%増)

年賀状事業売上高 141百万円増

利益率の安定化
売上総利益率 37.3% → 37.1%
売上高販管費率 28.6% → 28.9%

営業利益 11百万円増

增收要因

首都圏売上高の増加
東京支社売上高35.8%増

商業印刷事業売上高 242百万円増

増益要因

有利子負債の削減
17年1月末比 564百万円減

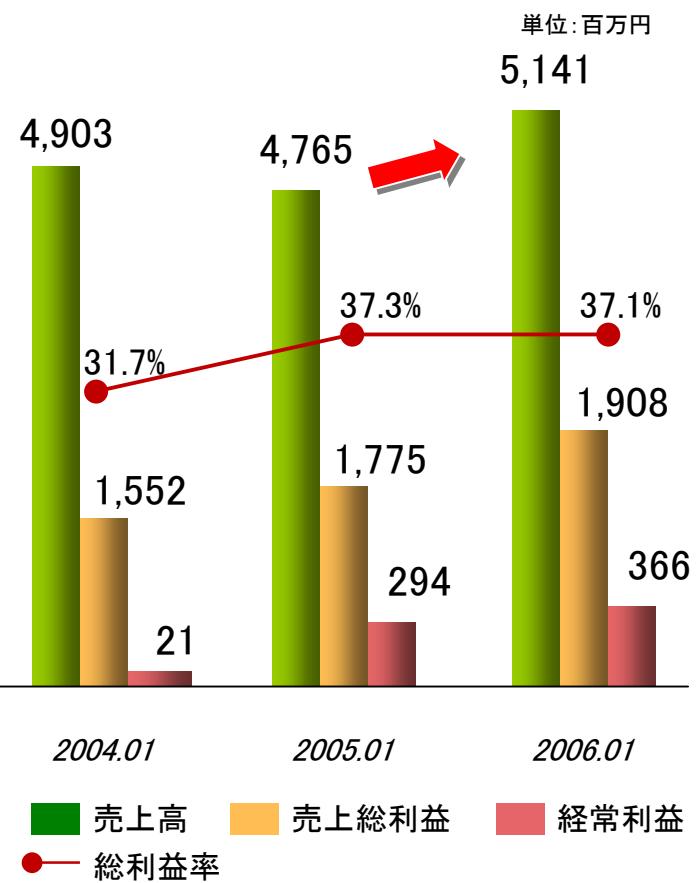
支払利息 56百万円減



2006年7月期 中間連結損益計算書

- 売上高は7.9%増加
- 経常利益は24.4%増加
- 減損損失72百万円、税効果会計による法人税等調整額118百万円の計上により、中間純利益は82.9%増加

単位:百万円



	2005/7 (中間)	比率 (%)	2006/7 (中間)	比率 (%)	増減
売上高	4,765	100.0	5,141	100.0	375
売上原価	2,990	62.7	3,233	62.9	243
売上総利益	1,775	37.3	1,908	37.1	132
販管費	1,362	28.6	1,483	28.9	121
営業利益	413	8.7	424	8.2	11
経常利益	294	6.2	366	7.1	71
中間純利益	256	5.4	469	9.1	212
材料費	1,241	26.0	1,288	25.1	46
外注費	647	13.6	894	17.4	246
業務委託費	116	2.4	158	3.1	42



2006年7月期 中間連結貸借対照表

□増益・有利子負債の削減により、自己資本比率は16.5%→22.3%へ増加

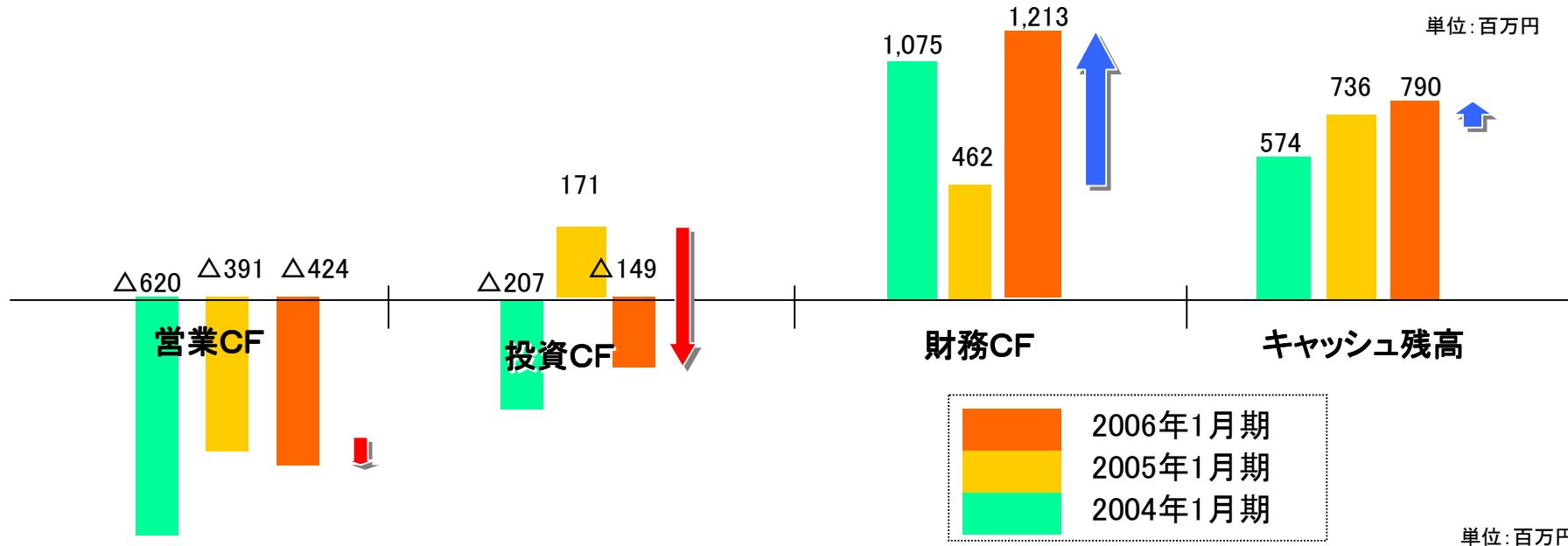
単位：百万円

	2005.1月期	2006.1月期	増減		2005.1月期	2006.1月期	増減
現金預金	736	790	54	仕入債務	704	935	231
売上債権	1,981	1,955	△25	短期借入金等	3,397	2,529	△868
たな卸資産	214	181	△32	その他	385	348	△37
その他	343	563	219	流動負債計	4,488	3,813	△675
流動資産計	3,275	3,491	215	長期借入金	559	925	365
有形固定資産	2,660	2,388	△271	その他	824	839	15
無形固定資産	348	299	△49	固定負債計	1,384	1,765	381
投資等	768	996	228	負債合計	5,872	5,578	△294
固定資産計	3,777	3,685	△92	少数株主持分	18	-	△18
				資本金	394	394	-
				剰余金等	767	1,203	436
				資本合計	1,161	1,598	436
資産合計	7,052	7,176	123	負債資本合計	7,052	7,176	123



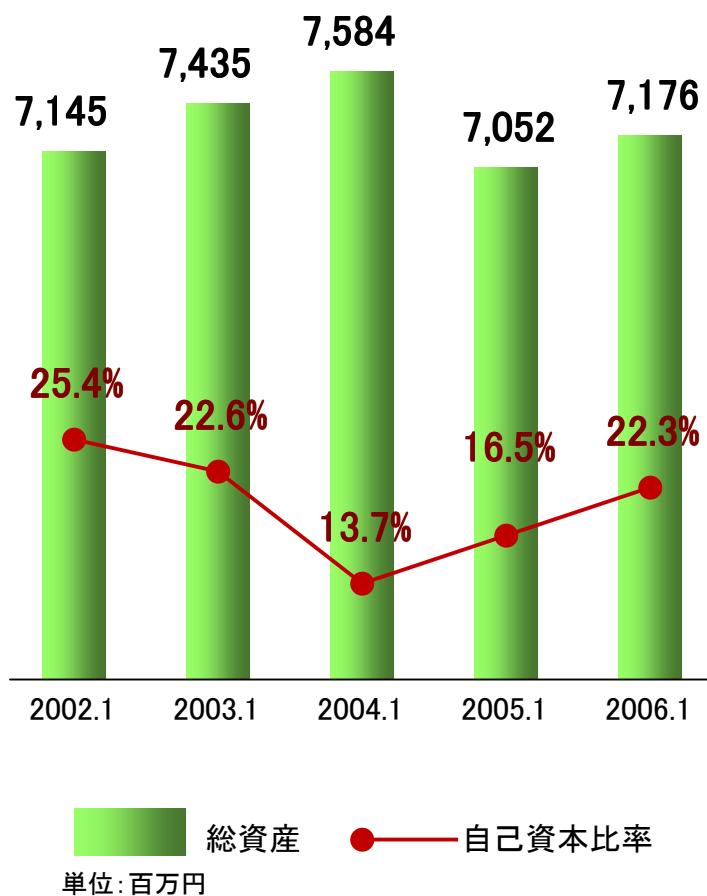
2006年7月期 中間連結キャッシュ・フロー

- 営業活動によるCF** ·年賀事業による売上債権増加、はがき立替金増加 ⇒ **前期比32百万円減少**
- 投資活動によるCF** ·有形固定資産取得87百万円、無形固定資産増51百万円(設備投資は抑制中)
⇒ **前期比321百万円減少**(前期は大阪工場の一部売却の要因あり)
- 財務活動によるCF** ·年賀状資金の借入増加、長期借入導入 ⇒ **前期比750百万円増加**

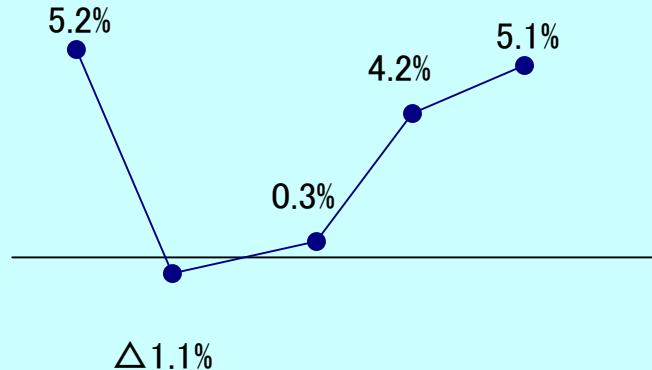


	2004.1月期	2005.1月期	2006.1月期	前期比
営業活動によるCF	△620	△391	△424	△32
投資活動によるCF	△207	171	△149	△321
財務活動によるCF	1,075	462	1,213	750
現金・現金同等物中間期末残高	574	736	790	54

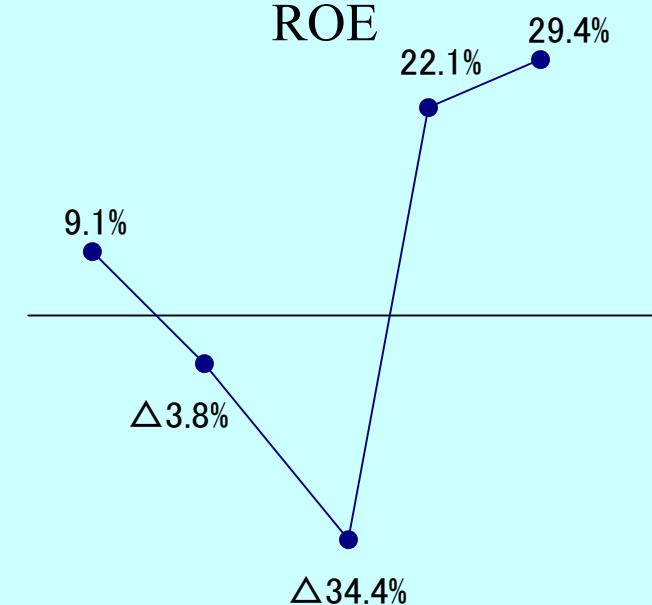
総資産及び自己資本比率



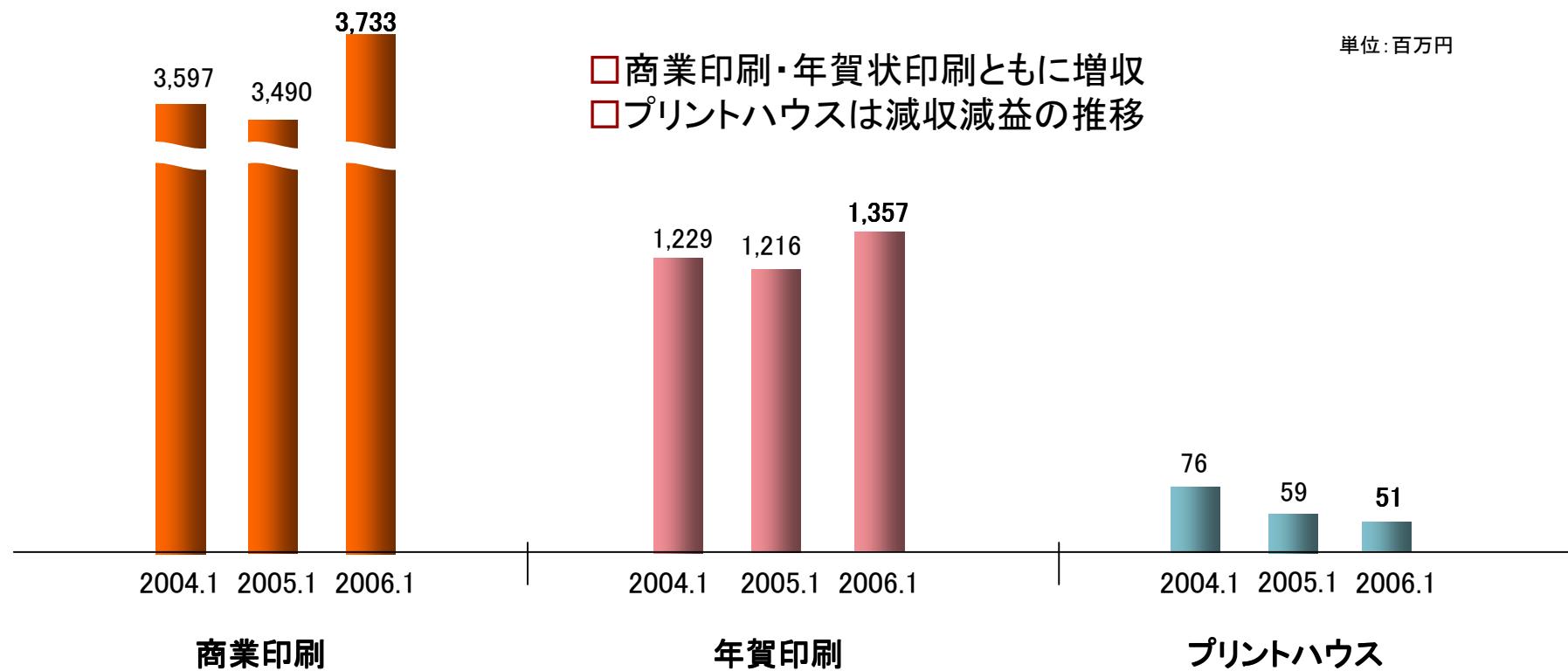
ROA



ROE



2006年7月期 事業別セグメント

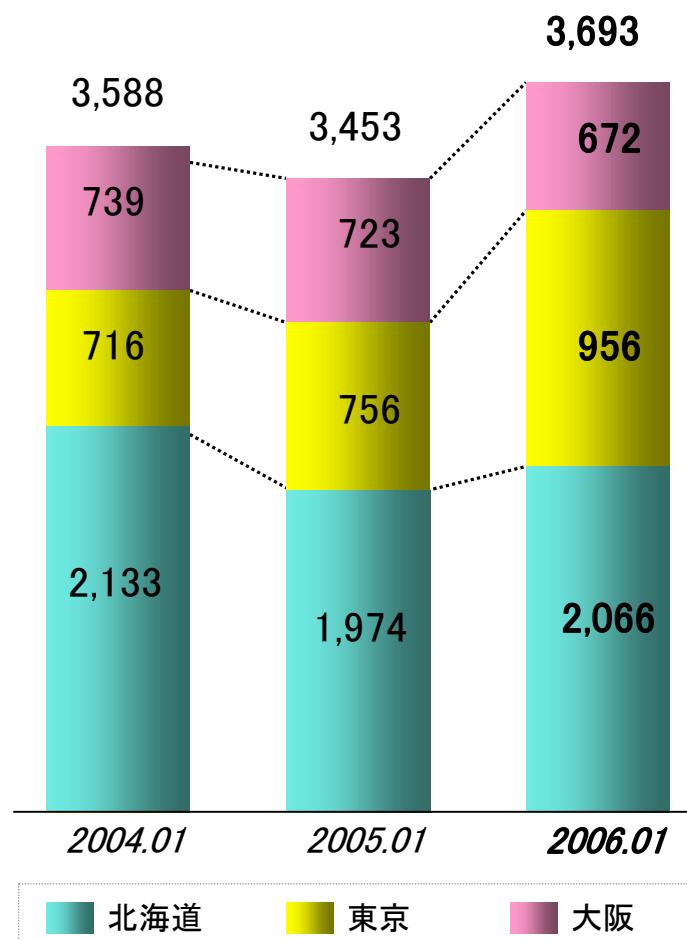


	商業印刷事業			年賀印刷事業			プリントハウス事業		
	'05/01	'06/01	増減	'05/01	'06/01	増減	'05/01	'06/01	増減
売上高	3,490	3,733	242	1,216	1,357	141	76	51	△7
営業利益	218	176	△41	365	435	70	△2	2	4

(注)営業利益は間接部門経費の配賦又は消去前

拠点別売上高の推移(単独)

単位:百万円



- 北海道 : 売上増加(+ 92百万円)
- 東京支社(東京・仙台) : 売上増加(+200百万円)
- 大阪支社(大阪・和歌山) : 売上減少(△ 51百万円)

- 営業利益は、外注費増により42百万円減少

道内・道外売上高比率

	2004/7 (中間)	2005/7 (中間)	2006/7 (中間)
道内売上高	59.4%	57.2%	55.9%
道外壳上高	40.6%	42.8%	44.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

単位:百万円

	2004/7 (中間)	2005/7 (中間)	2006/7 (中間)	前期比 増率
売上高	3,597	3,490	3,733	6.9%
営業利益	50	218	176	△18.9%
(営業利益率)	(1.4%)	(6.2%)	(4.7%)	-



2006年7月期中間 年賀状印刷事業

- 名入年賀状の取扱件数が、前年より88千件増の631千件(前年比16.1%増)
- 売上高1,357百万円(前期比11.6%増)、営業利益435百万円(同19.2%増)と增收増益

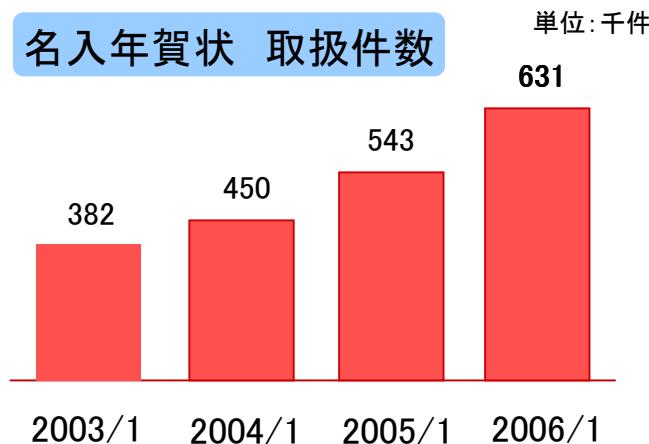
- 名入年賀状件数が4年連続増加(収益率のアップ)
- 前期より、カラークレバープレス導入により、業務効率化・経費削減・在庫圧縮
- 一貫体制、セキュリティシステムの早期導入、プライバシーマーク取得による差別化

単位:百万円

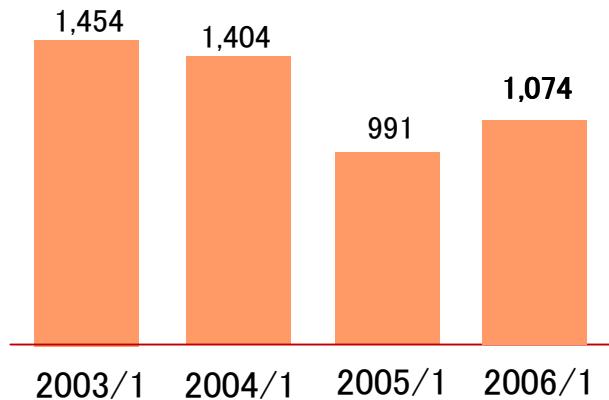
	2004/7 (中間)	2005/7 (中間)	2006/7 (中間)	前期比増率
売上高	1,229	1,216	1,357	11.6%
営業利益	246	365	435	19.2%
(営業利益率)	(20.0%)	(30.0%)	(32.1%)	-

年賀状印刷 販売状況・営業利益の推移

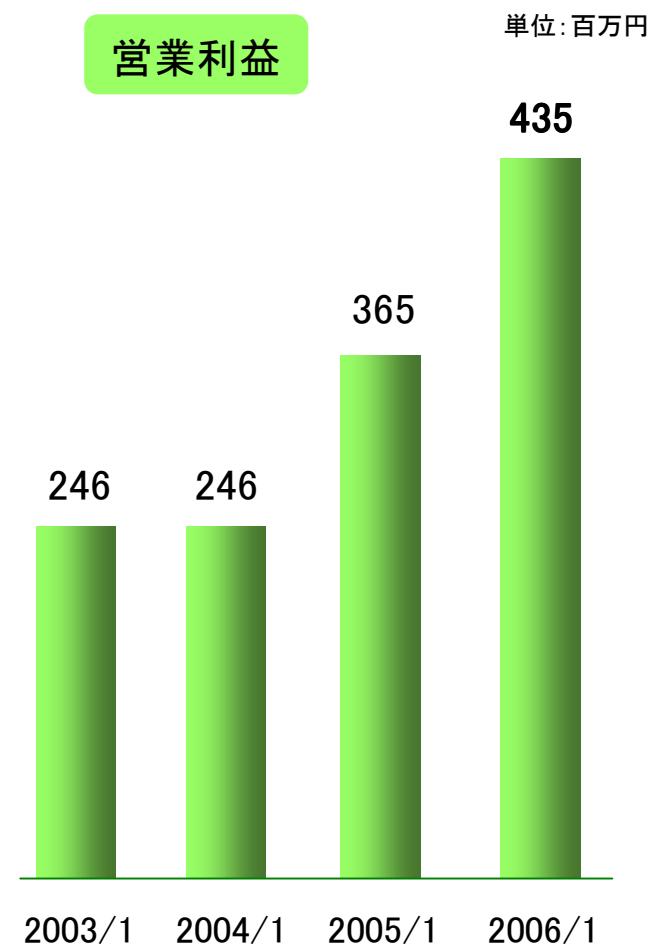
名入年賀状 取扱件数



パック年賀状 取扱件数



営業利益





中期経営計画業績予想(連結)

[第35期通期業績予想]

- 売上高 8,880百万円 (前期比493百万円増)
- 経常利益 230百万円 (前期比 44百万円増)
- 当期純利益 290百万円 (前期比237百万円増)

単位:百万円

	2005年7月期 (実績)	2006年7月期 (当初計画)	2006年7月期 (見通し)	2007年7月期 (当初計画)	2008年7月期 (当初計画)
売上高	8,387	8,600	8,880	8,700	8,800
営業利益	361	350	360	365	365
経常利益	186	210	230	290	310
当期純利益	53	150	290	255	177
純資産額	1,018	1,200	1,320	1,450	1,600
総資産額	5,833	6,200	6,200	6,400	6,600
有利子負債額	3,458	2,903	2,950	2,570	2,379
売上総利益率	32.9%	32.7%	32.5%	32.8%	32.8%
自己資本比率	17.5%	19.4%	21.3%	22.7%	24.2%



総合商研株式会社

個別中間損益計算書

単位:百万円

	2005/7 (中間)	比率(%)	2006/7 (中間)	比率(%)	増減
売上高	4,741	100.0	5,101	100.0	360
売上原価	2,973	62.7	3,198	62.7	225
売上総利益	1,768	37.3	1,903	37.3	134
販管費	1,343	28.3	1,434	28.1	91
営業利益	425	9.0	468	9.2	43
経常利益	309	6.5	413	8.1	104
中間純利益	269	5.7	486	9.5	217
材料費	1,241	26.2	1,287	25.2	46
外注費	646	13.6	894	17.5	247
労務費・人件費	732	15.5	760	14.9	27



ご参考

個別中間貸借対照表

単位:百万円

	2005.1月期	2006.1月期	増減		2005.1月期	2006.1月期	増減
現金預金	688	784	96	仕入債務	704	935	231
売上債権	1,965	1,944	△21	短期借入金等	3,397	2,529	△868
たな卸資産	196	173	△22	その他	375	347	△28
その他	347	563	216	流動負債計	4,477	3,812	△665
流動資産計	3,197	3,466	268	長期借入金	559	925	365
有形固定資産	2,636	2,388	△247	その他	824	839	15
無形固定資産	343	299	△44	固定負債計	1,384	1,765	381
投資等	871	993	121	負債合計	5,862	5,577	△284
固定資産計	3,851	3,681	△170	資本金	394	394	-
				剰余金等	792	1,175	383
				資本合計	1,186	1,569	383
資産合計	7,048	7,147	98	負債資本合計	7,048	7,147	98



会社設立 平成15年9月

味覚事業の拡大

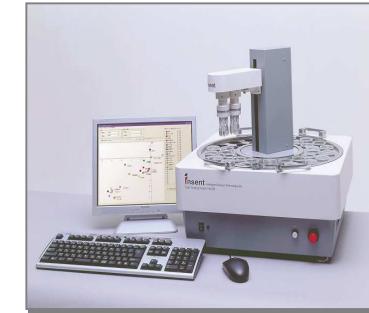
- 平成17年12月
第三者割当増資の実施
(発行価格総額460百万円)

現在展開中の事業

- DB会員サービス
- テイストマップの提供
- 味覚委託分析
- マーケティング
- コンサルティング

味覚センサー

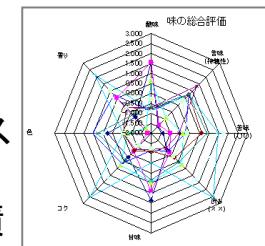
- 味のベースとなる味覚基本5要素を数値化
(甘味・酸味・塩味・苦味・うま味)
- 人間の味覚(おいしい、まずい、コクやキレがある)をモデル化



(株)インテリジェントセンサー技術社製
(九州大学が開発)

味覚データベース

- ～味の総合的なデータベース構築～
- 数値化した味覚データを蓄積



つくる・売る

食品メーカー・卸売業
流通小売業等

味わう
消費者

育てる

地域・食育・
学術研究等